

次期国立大学法人宮城教育大学学長候補者の決定について

令和5年11月30日
国立大学法人宮城教育大学学長選考・監察会議

この度、国立大学法人宮城教育大学学長選考・監察会議は、現学長の任期が令和6年3月31日で満了となるため、国立大学法人宮城教育大学学長選考等規程（平成17年9月26日制定）第3条第1項第1号の規定に基づき、次期学長候補者の選考を行った結果、下記の者を次期学長候補者に決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、学長の任命は、国立大学法人の申出に基づき、文部科学大臣が行います。

記

1. 次期学長候補者

松岡 尚敏 氏（現職：国立大学法人宮城教育大学 学務担当副学長）

任 期：令和6年4月1日 ～ 令和10年3月31日

2. 選考の経過及び選考理由

別紙のとおり

【問合せ先】

国立大学法人宮城教育大学経営企画課人事係

TEL：022-214-3307 FAX：022-214-3340

Eメール：muejinji@grp.miyakyo-u.ac.jp

【その他】

学長選考に係る各種情報については、本学ホームページ（下記）を参照願います。

<https://www.miyakyo-u.ac.jp/about/outline/meeting-report/inspection-meeting/>

別紙

次期国立大学法人宮城教育大学学長候補者選考結果概要

1. 選考の過程

令和5年 6月16日(金) 学長選考・監察会議(第1回)

- (1) 学長選考のスケジュール、学長選考基準案、学長候補者の公募案の検討を行った。

令和5年 7月 6日(木) 学長選考・監察会議(第2回)

- (1) 学長選考基準を決定、「国立大学法人宮城教育大学学長候補者の公募について」(公募要領)を作成し、公表の上、学内外に公募を行うこととした。(公募期間：令和5年7月26日(水)～9月26日(火))
- (2) 公募の結果、次の3名について自薦による応募があった。
熊野 善介 氏(現職：国立大学法人静岡大学 名誉教授・特任教授)
本図 愛実 氏(現職：国立大学法人宮城教育大学 教授)
松岡 尚敏 氏(現職：国立大学法人宮城教育大学 学務担当副学長)
(五十音順)

令和5年10月10日(火) 学長選考・監察会議(第3回)

- (1) 応募書類を確認し、応募のあった3名に対し選考を進め面接を実施することを決定した。
- (2) 学長候補適任者への質問書案を作成した。

令和5年10月16日(月) 学長選考・監察会議(第4回)

- (1) 応募のあった3名に対し、面接を実施した。
- (2) 面接後、前回提出のあった応募書類及び本日の面接結果等から、次の3名を学長候補適任者とした。
熊野 善介 氏(現職：国立大学法人静岡大学 名誉教授・特任教授)
本図 愛実 氏(現職：国立大学法人宮城教育大学 教授)
松岡 尚敏 氏(現職：国立大学法人宮城教育大学 学務担当副学長)
(五十音順)

- (3) 学長候補適任者への質問書の内容を決定した。
(10月17日(火)依頼、10月26日(木)締切り)
- (4) 学長選考等規程第7条第2項該当者(以下、意向聴取対象者という。)に対して、学長候補適任者の「抱負を聞く機会」及び「意向聴取」を実施することについて決定した。

令和5年10月27日(金)

意向聴取対象者に、学長候補適任者の「抱負を聞く機会」及び「意向聴取」を実施することについて周知するとともに、学長候補適任者から提出された次の書類を公開した。

・学長選考・監察会議ホームページ上への掲載（学内限定）

- 履歴書
- 業績概要
- 所信
- 質問書及び回答書

令和5年11月7日（火）

意向聴取対象者に対し、学長候補適任者の「抱負を聞く機会」（対面・オンライン併用）を実施した。

令和5年11月13日（月）及び14日（火）

意向聴取対象者に対し「意向聴取（意向投票）」を実施した。

令和5年11月29日（水） 学長選考・監察会議（第5回）

（1）学長選考・監察会議において、松岡 尚敏 氏を次期学長候補者に決定した。

決定後、学長選考・監察会議議長から同氏に次期学長就任について要請、同氏から受諾する旨の回答を得た。

2. 選考の理由

学長選考・監察会議は、学長候補適任者として決定した3名について、国立大学法人法、国立大学法人宮城教育大学学長選考等規程及び同細則に基づき、慎重に選考を進めた。

特に、本学は教員養成分野における東北地域の拠点大学として、優れた資質・能力を有する教員の養成に責任を負うとのミッションにしたがい、第4期中期目標・中期計画を確実に実行していくことが求められており、学長選考等規程第9条による審査結果、第10条による所信等をもとに、第11条による意向聴取の結果も参考にしつつ、学長選考基準に掲げる資質・能力を有する者であるか率直な意見交換を行なった。

その結果、松岡 尚敏 氏を、学長候補者として選考した。

その主たる理由として、松岡 尚敏 氏は、宮城教育大学の学務担当副学長として大学運営に関わってきた経験と実績があること、第5期を見据えた本学の管理運営方針や具体的な体制づくりについても確かなビジョンと構想を持っていること、東北地方における本学の役割と責任を認識し「東北教育大学」構想への展望を持っていること、教職員との協働について一層の進展を図る姿勢を持ち、教育研究活動をより活発にするリーダーとしての資質を有していることなどを総合的に判断した。

本会議は、以上の理由及び公正かつ適正に行われた手続きを経て、委員の総意により同氏を次期学長候補者に決定した。